



## 心土破碎によるハウス土壤改善の取組み (八潮市・三郷市)

三郷市や八潮市では、こまつな等がハウスなどで周年的に栽培されています。同じほ場で年間に何回も作付けられるので、土壌は耕盤層(心土)が形成され作土層が浅くなり、排水不良、塩類集積などが問題になっていきます。

耕盤層は、ロータリーの回転爪で耕転層の底面が叩き締められたり、トラクターなどによる踏圧が繰り返されることで硬い層が地下約20cmの浅層に生じるものです。耕盤がある場合は、あたかも深さ約20cmの浅いプールで栽培するようなもので、根圏が十分に確保できないだけでなく、保水性や排水性が低下し、塩類集積も発生しやすく生産性も低下します。

そこで、春日部農林振興センターではJAや農機メーカー等の協力を得て心土破碎機による施設土壌の耕盤破碎の実演会を8月1日に三郷市で実施しました。



▲パイプハウス内での施工



▲鉄骨ハウス内で説明を受ける参加者

当日は、生産者など約30人が集まる中、スガノ農機株式会社を担当者から鉄骨ハウスやパイプハウス間口54mで30馬力のトラクターに3本爪のプラソイラーを装着し、深さ約30cmの心土破碎の実演や注意点について説明がありました。作業機の着脱にはある程度技術が必要ですが、手持ちのトラクターでも重量(約1t以上)に応じて作業機が選べることで、作業速度が約40m/分と速いこと、排水性の向上などを実際に見ることができました。

今後、かん水による塩類除去効果や、こまつなや枝豆の生育改善が期待されます。

**【お問合せ】**  
技術普及担当  
☎048-737-6311



## 県営事業の紹介 橋の耐震補強補修工事を行っています

### 農道整備事業 埼玉地区



事業期間	平成28年度～ 平成32年度(予定)
事業内容	橋梁耐震補強補修工事 8橋梁→整備済み1橋

埼玉地区農道は、県東部の水田地帯を松伏町から春日部市、杉戸町、幸手市へと南北に縦断する延長約19kmの道路です。

この道路は、昭和46年度から昭和55年度に建設されました。

近年、橋梁の老朽化に対する補強や路面の痛みに対する補修、歩行者や自転車の安全確保等が必要となってきました。

特に、8つの橋梁は老朽化が進んでいます。また、現在の大規模地震を想定した基準に対応していないことから、大地震発生時の安全を確保することが喫緊の課題となっています。



▲耐震補強補修工事中の東武野田線跨線橋(春日部市)



▲耐震補強補修工事後の鹿島橋(杉戸町)

そこで春日部農林振興センターでは、昨年度から、橋梁の耐震補強補修工事に着手しました。昨年度、杉戸町地内の鹿島橋の工事は4か月におよぶ通行止めを伴う難工事となりました。工事は皆様の御協力により、無事、終了し、県優秀建設工事施工者表彰優秀賞を受賞しました。

今年度は、東武野田線跨線橋の耐震補強補修工事を行います。



**【お問合せ】**  
県営事業担当  
☎048-737-2112